

海洋深層水研究所のあり方検討会 全体の流れ（R6改定）

資料 1

1 検討会のミッション

設立から30年以上が経過し、老朽化が進む研究所の「取水・分水機能」と「研究機能」についての、今後のあり方を検討すること。⇒委員による検討に、委託調査の結果をふまえてR7年度内に「基本構想」を策定する。

2 検討会の進め方

あり方検討会の流れ

アウトプット

R
5

【第1回検討会開催】（R5.8月）

・県研究所の現状、深層水振興策の共有

【第2回検討会開催】（R5.11月）

・施設見学 & 協議

【第3回検討会開催】（R6.2月）

・研究課題等への協議



～第3回まで：【意見】

・各委員から「取水・分水」、「研究機能」、「産業・社会面」の3つの観点からの意見が集まった。

R
6

【第4回検討会開催】（予定R6.8～9月）

・R7に実施する調査委託業務の事業内容案協議
（仕様書のベース）



第4回予定：【R7調査委託事業案】

・R7年度の事業内容案を決定。
予算要求へ

※県の動き

委託先候補へ事業案相談
概算見積取得



年度後半：【R7調査委託事業仕様書】

・R7調査委託事業の仕様書(※)完成
※完成した段階で、各委員にメールなどで意見照会を実施

R
7

【第5回検討会開催】（想定R7.5～6月）

・調査委託事業開始に向けた協議

【第6回検討会開催】（想定R7.9～10月）

・調査委託事業の中間進捗報告会
・基本構想の協議(1回目)

【第7回検討会開催】（想定R8.2～3月）

・委託調査事業の最終報告会
・基本構想の協議（最終）→基本構想策定

▶【検討会終了】



※県の動き

県議会での説明・報告(R8.3)

公表

調査委託事業の成果想定 》》 基本構想案の提示

目的：専門的、第三者的な視点で客観的かつ公平な調査分析を行う。

(1):研究所の現状__調査

・建物(施設・設備)
・取水・分水機能
・研究機能
・これまでの取組に対する評価

(2)他県の比較状況（海外も視野に）__調査・分析

・比較分析：上記(1)「研究所の現状」の項目で他の取水と比較分析
・分析から強み・弱みを検証

(3)今後のあり方__提案

国内外の他施設の現状や今後の需要見込、トレンド等をふまえ
下記の項目において戦略の提案を求める。

・研究施設のあり方
・取水・分水の運営方法
・研究課題

R
8
以降

※県の動き

【基本設計】

【実施設計】

【整備等】

※着手年度は庁内協議等により決定